

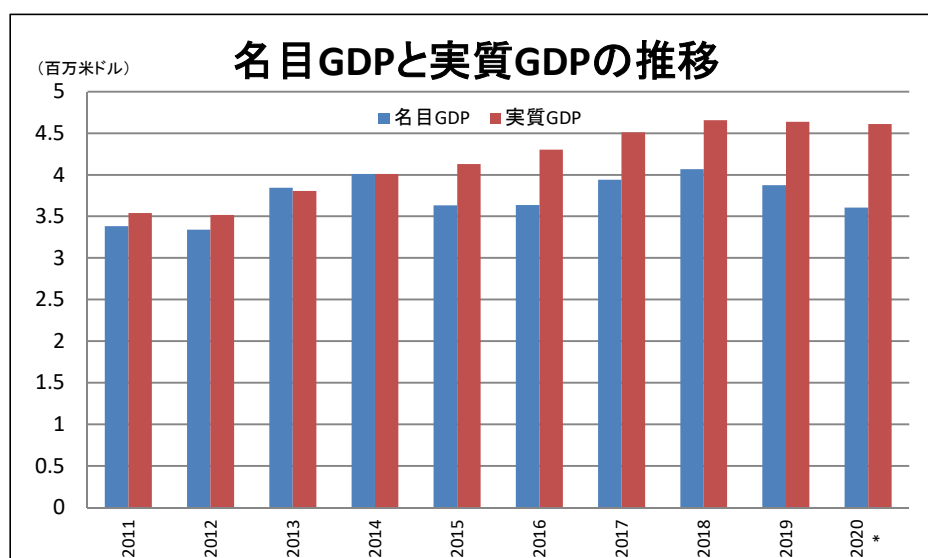
パラグアイ主要経済指標(2020年12月)

※ I ~ V および VII は全てパラグアイ中央銀行発表データ

I 名目GDP・実質GDP・経済成長率

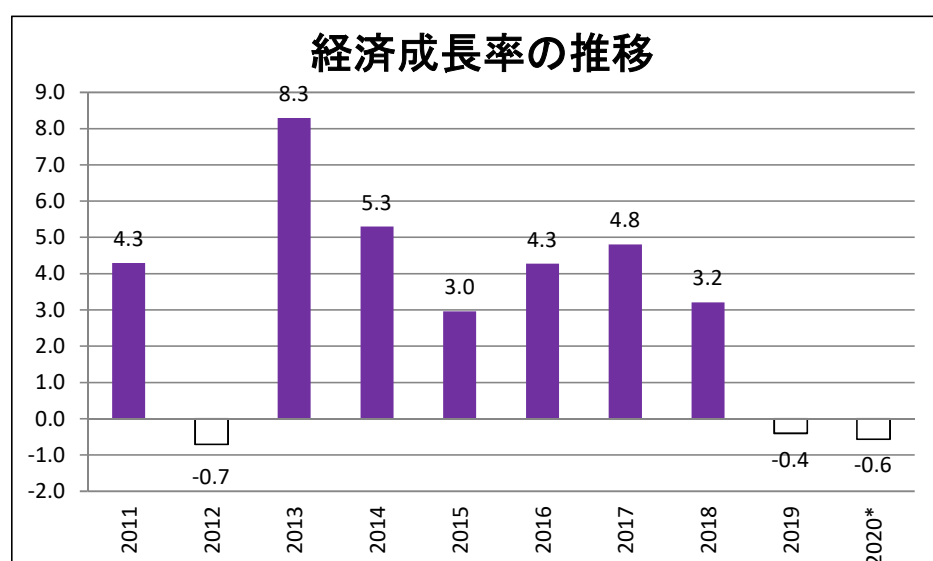
※11月より数値の変更なし

●12月時点で2020年度の名目GDPは36,049百万米ドル、
実質GDPは46,098百万米ドルと推定されている



※2019年は暫定値、2020年は推定値

●12月時点で2020年の経済成長率は-0.6%と推定されている。



II 貿易

<2020年12月貿易データ概要>

(1)輸出

12月の輸出総額は678,057千米ドルであり、1～12月の総額は8,518,787千米ドルとなった。

*** 前年度比7.0%増**

(大豆種子36.2%増、大豆油7.2%増、大豆粉1.0%減、穀物4.4%減、肉類8.4%増、電力7.6%減、自動車部品(ハーネス)34.1%減、その他10.2%増)

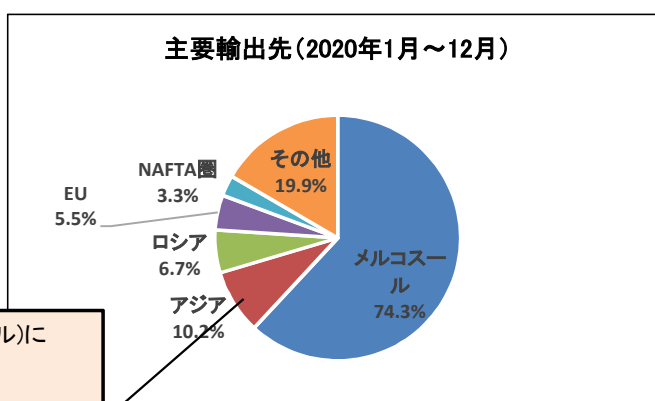
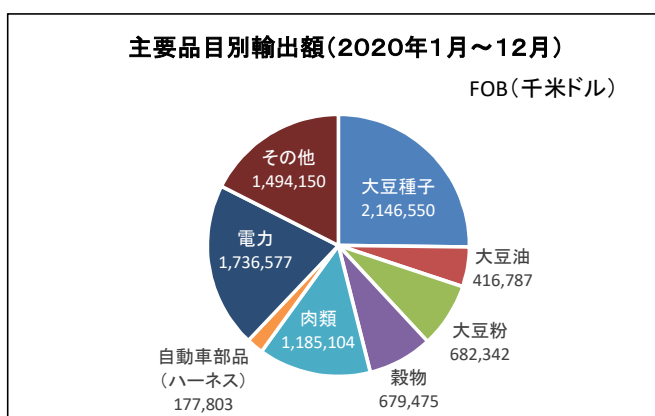
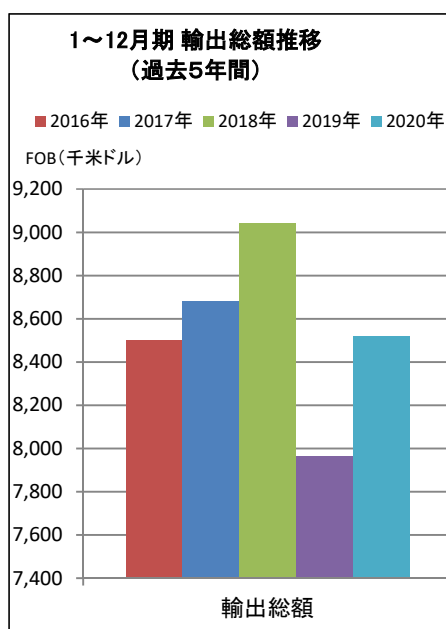
(2)輸入

12月の輸入総額は973,352千米ドルであり、1～12月の総額は9,484,551千米ドルとなった。

*** 前年度比19.3%減**

(食料品0.9%減、酒類・タバコ21.0%減、紙・布類・薬・衛生用品等19.2%減、燃料26.3%減、自動車・電子機器等26.0%減、化学製品・薬品9.3%減、機械類・部品23.9%減、その他19.3%減)

(1)輸出



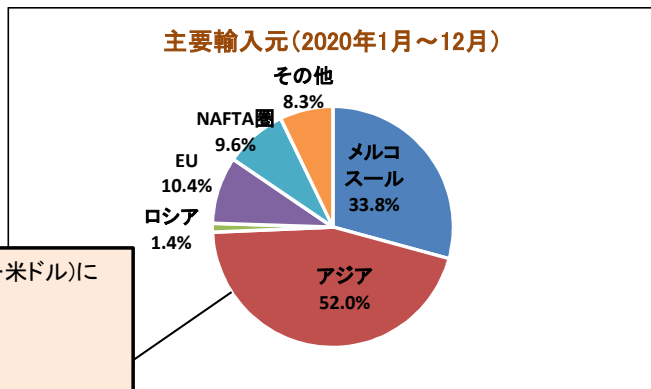
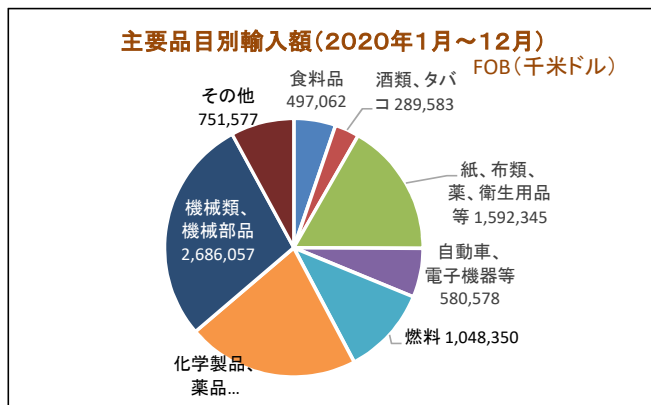
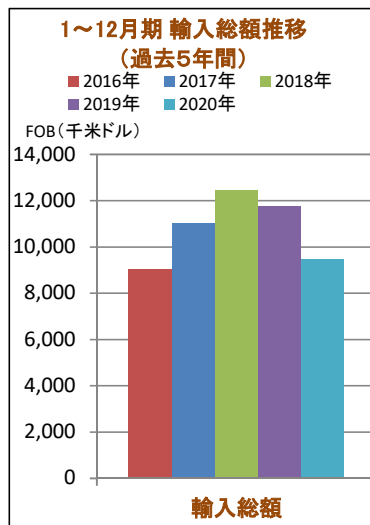
【アジア向け輸出(総額724,177米ドル)に占める割合】

台湾: 121,486(千米ドル)【19.9%】

日本: 59,885(千米ドル)【9.8%】

中国: 13,836(千米ドル)【2.3%】

(2) 輸入



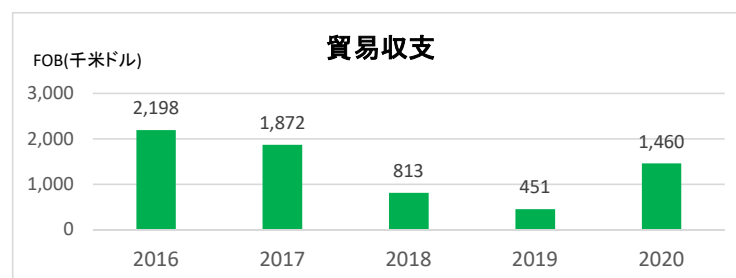
【アジアからの輸入(総額3,999,746千米ドル)に占める割合】

台湾: 25,369(千米ドル)【0.8%】

日本: 208,008(千米ドル)【6.4%】

中国: 2,855,451(千米ドル)【87.8%】

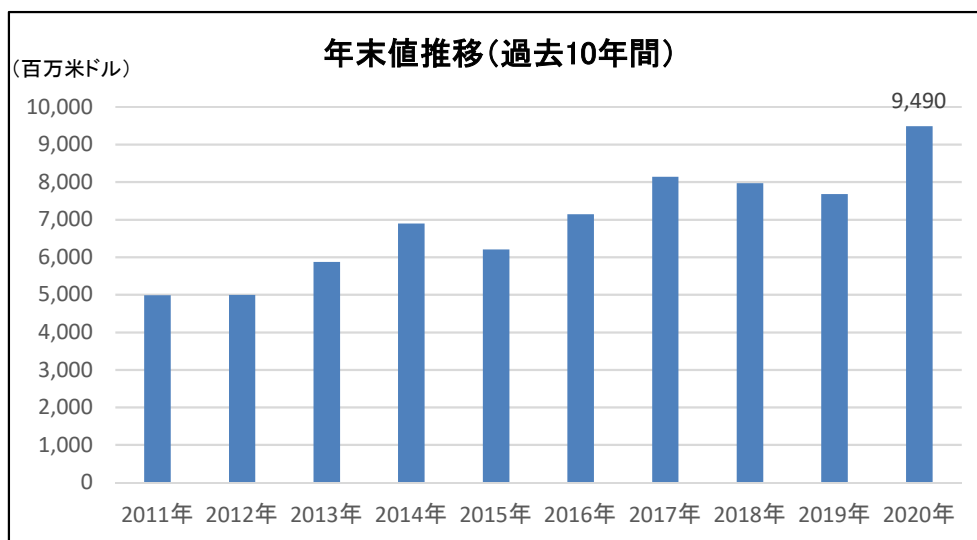
(3) 貿易収支(過去5年間、再輸出等を含めた総額ベース)



※2020年は1～11月データ

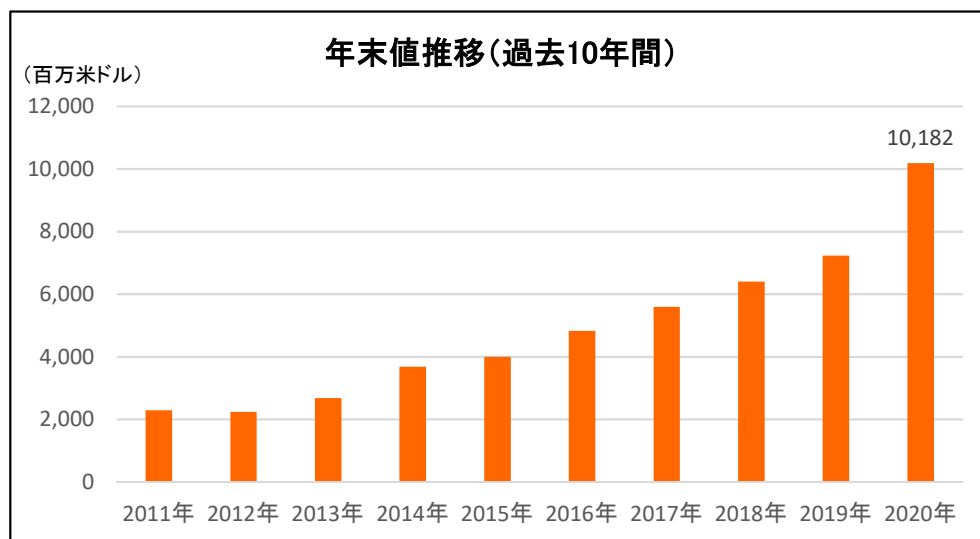
Ⅲ 外貨準備高

2020年12月末の外貨準備高は、約9,490百万米ドルであった。



Ⅳ 対外累積債務

2020年12月末の対外累積債務は、約10,182百万米ドルであった。



V 消費者物価指数

<消費者物価指数概要>

(1) コア・インフレ

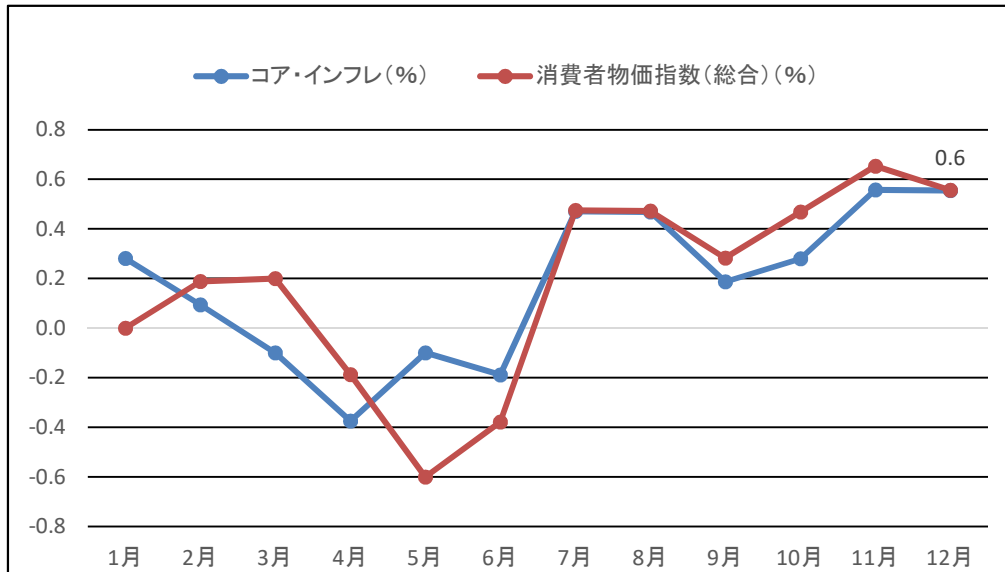
12月のコア・インフレ率は0.6%となり、年間累計値は2.2%となった。

*小数点第二位切上げ

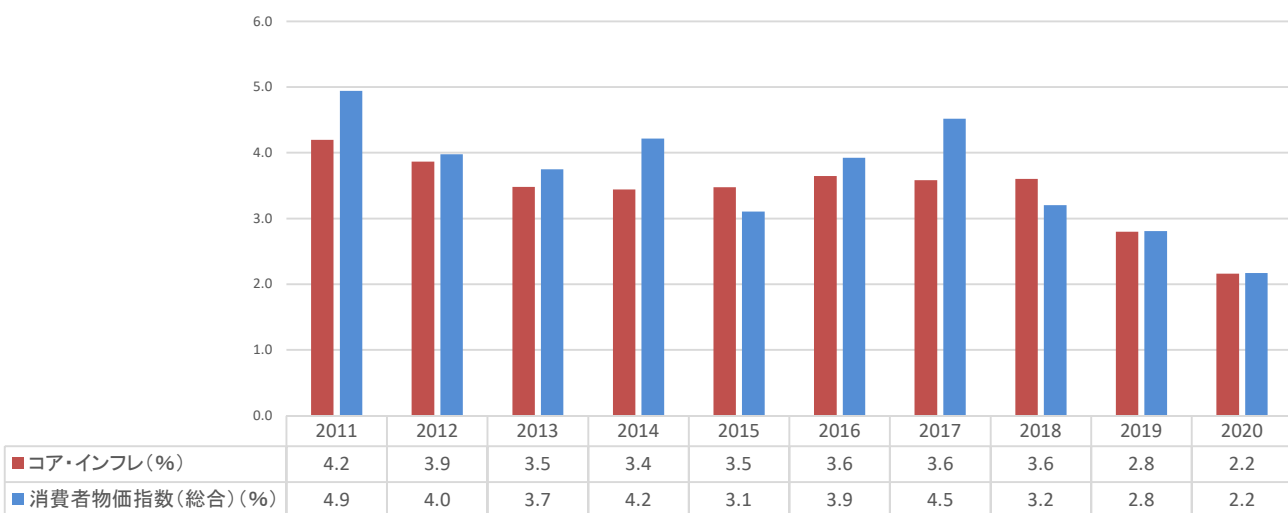
(2) 消費者物価指数上昇率(総合)

12月の消費者物価指数上昇率(総合)は0.6%であり、年間累計値は2.2%となった。

<2020年1月～12月推移>



【参考】2011～2020年 年間累積値(12月時点)比較



VI 雇用統計(パラグアイ統計局発表)

2020年第4四半期の失業率(全国)は7.2%(266,902人)であり、前期より1.0ポイント下落した。

男性4.9%、女性10.2%であり、依然として女性の失業率が高い。

<2020年(四半期)失業率(%)推移>

期間	全国	男/女(全国)	都市/農村
第1四半期	7.9	6.3/10.1	8.8/6.4
第2 "	7.6	6.7/8.8	9.1/4.9
第3 "	8.2	5.8/11.5	10.1/4.7
第4 "	7.2	4.9/10.2	8.8/4.1

※BoquerónとAlto Paraguay除く

*小数点第二位切り捨て

<最低賃金>

2020年12月現在:2,192,839グアラニー

参考:最低賃金の改定歴(2010年~, グアラニー)

改定日	最低賃金	一日あたりの賃金	前回からの増加率
2010年7月	1,507,484	57,980	7%
2011年4月	1,658,232	63,778	10%
2014年3月	1,824,055	70,156	10%
2016年12月	1,964,507	75,558	7.7%
2017年7月	2,041,123	78,505	3.9%
2018年7月	2,112,562	81,252	3.5%
2019年7月	2,192,839	84,340	3.8%

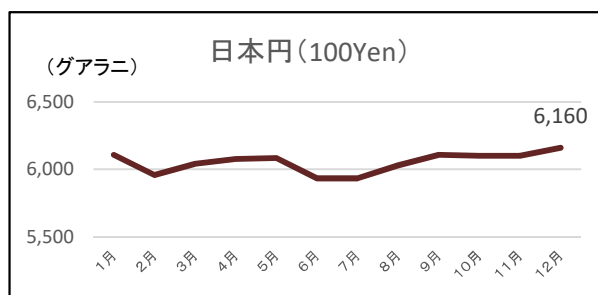
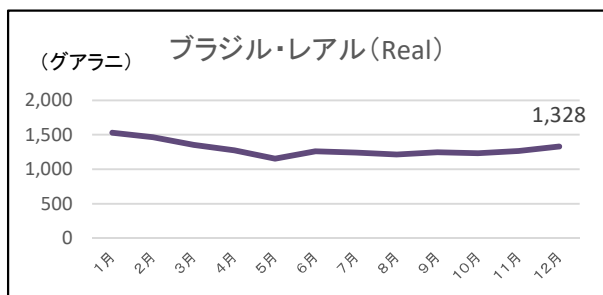
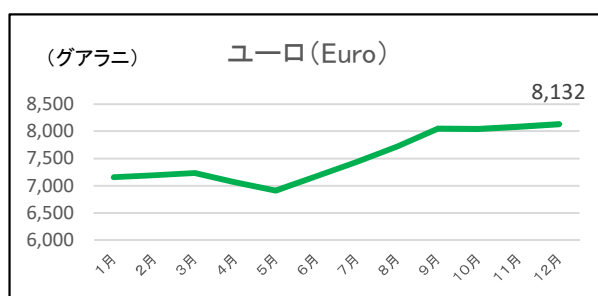
VII 為替相場

<為替レート概要(月平均値、売値)>

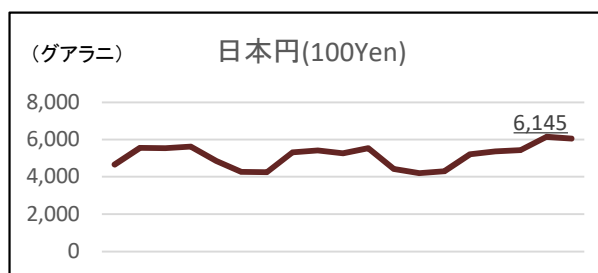
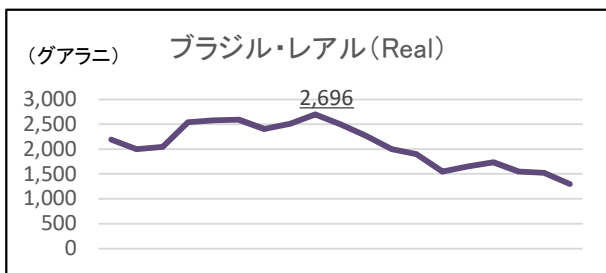
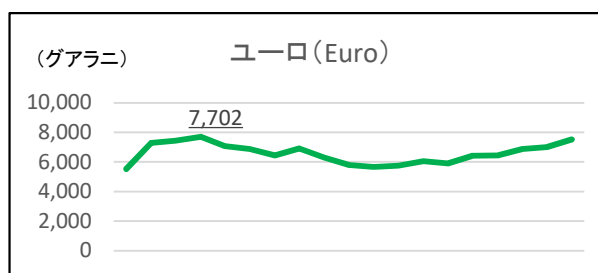
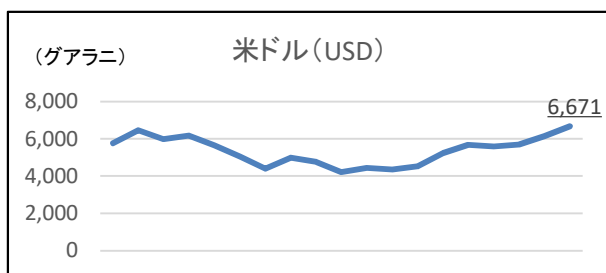
- (1) 対ドル(Gs/US\$)
12月の対ドル為替レート(Gs/US\$)は6,974 Gsとなった。
- (2) 対ユーロ(Gs/EURO)
12月の対ユーロ為替レート(Gs/EURO)は8,132 Gsとなった。
- (3) 対リアル(Gs/REAL)
12月の対リアル為替レート(Gs/REAL)は1,328 Gsとなった。
- (4) 対日本円(Gs/円)
12月の対日本円為替レート(Gs/円)は6,160 Gsとなった。

∴ユーロが上昇傾向にある

<2020年1月～12月推移>



【参考】各主要通貨対グアラニ為替相場: **年平均値推移(2002～2020)** (下線部は最安値)



Ⅷ 12月の経済トピックス

1 大豆価格が好調

シカゴ商品取引所では、2020年第3四半期末から大豆、トウモロコシ、小麦など主要農産物が好調で、11月27日には大豆の価格が1トンあたり437.90ドルの値を付けた。2016年以来で最も高値となり、その結果、トウモロコシや小麦の利益も生じた。国内の大豆生産は、収穫高を左右する夏季の雨を待つ状況にあるが、収穫時期の水不足により油糧作物の播種が遅れたことで、この先の生産に影響を及ぼす可能性がある。

2 密輸業者への取締り

1月～12月中旬までに押収された密輸品や密輸に用いられた車両の額は約1,900万ドル相当となった。2018年8月から2019年12月の17か月間の押収分約1,600万と比較すると、「密輸予防・摘発・対策組織間連合（UIC）」による管理がかなり改善していることが分かる。2020年には、砂糖488トン（約36万4,000ドル）、果物及び野菜456トン（約31万9,000ドル）、鶏卵55万5,444個（9万9,000ドル）、鶏26トン（4万9,000ドル）が摘発された。

3 米国への牛肉輸出準備

国立家畜衛生品質局（Senacsa）は、国内の衛生基準を米国の水準と合わせるための修正作業を完了し、米国市場のパラグアイ産牛肉への開放に向けてさらに一歩進んだ。諸手続きの経費と研究施設の設備購入費として、政府は約20万ドルを投資している。米国が求める水準は高く、また、異常行動が現れた牛の病気として知られ、感染した牛の特に神経組織を食すことで人に感染する、牛海綿状脳症（BSE）への規制が厳しい。